

こんにちはは 日本共産党 まさかず いのくま正一です

区政報告

No.11
2001年5月

日本共産党港区議団

〒105-8511
港区芝公園1-5-25
TEL 3578-2945
FAX 3578-2947
x-mail minakujidan@mbnifty.com

介護保険の保険料・利用料の減免 十月実施を約束

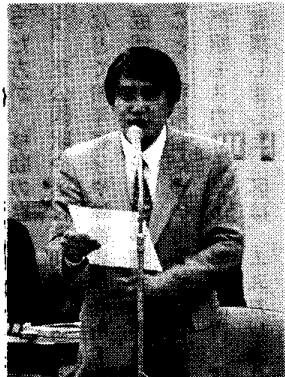
今後の運動が大事です

三月二十一日に開かれた予算特別委員会で、原田区長は、「本年十月を目途に、保険料および利用料の所得実態等に即した軽減策を実施に向け検討したい」と、保険料利用料の軽減策を実施すると発言しました。

これは予算特別委員会で全会派が一致して区長に対し、保険料・利用料の軽減を求める要望書の提出を議決し、それに応えた区長発言です。

要望書は、高齢者のおかれている生活実態や所得実態を踏まえ、きめの細かい実態に即した保険料の徴収を。介護サービス利用料も、何らかの配慮が必要。と港区独自の減免実施を求めたものです。

介護保険が始まって一年が経ちました。この間、党議員団は、一貫して定例会の代表質問や、予算・決算特別委員会等で、保険料や利用料の減免制度



質問するいのくま区議

を始め、特養ホームの建設や運営改善などを求めてきました。

三月議会には介護保険料・利用料の減免のための条例提案を準備し、各会派へ共同提案をよびかけました。また「保険料・利用料の減免を求める請願」も四団体から提出されました。これらで、減免を拒否してきた区の姿勢を、区民と議会の要望で変えさせることができたのです。

しかし具体的な中身についてはこれから。真に高齢者の立場に立った軽減策へ引き続き頑張る決意です。

固定資産税 23件が減額修正 不服申し出の成果

高い固定資産税の評価と税額を大幅に減額せよと、昨年度の東京都への不服申し出は、港区で一四五人、千代田・新宿区からもいっしょに取り組み、合わせて二〇〇名となりました。高い固定資産税から営業と住まいを守る会は、都の審査委員会の中で、売買実例と評価がほぼ二倍にもなっていること

や、不整形地の評価の修正率が正しくないこと、不動産鑑定士の鑑定の矛盾などを具体的に示し、固定資産税の評価と税額を実態に見合せて引き下げるべきだと主張してきました。その結果二・三件が、不整形地や私道部分の是正などで減額修正されます。最大で二・五%の減額修正です。

減額修正された方は、「多くの不服申し出と具体的な審査会での矛盾の追求が力になった」と語っています。「会」世話人でもある、くぼた光都議は、「住民のみなさんが声を上げてきたことが、今回の重要な成果につながっています。都議会でも引き続き大幅減税のため都の姿勢を正していきたい。同時に、今年度も申し出される方を広げていきたい」と決意しています。

特別枠融資を実施せよ

区内中小零細企業の方々は、大不況のもと大変な思いをしています。港区は中小企業への支援策として、九八年二月から二年二月まで八次にわたって緊急特別枠融資を実施してきましたが、原田区長になって一度も実施していません。この間の緊急特別枠融資の実施状況を合計すると、応募件数は八三四六企業で、うち斡旋は一八三三件、二一・九%しか受けられていません。多くの中小企業は引き続き緊急特別枠融資を望んでいます。党議員団は一日も早い実施と、明日のやりくりに困っている中小企業向けの金利負担の少ない、無担保・無補償の駆け込み的融資制度の実施を強く求めました。また、元請けの単価切り下げなどの横暴から、下請け業者の営業と生活を守るため、下請け取引の適正化の取組みの強化も強く求めました。区はこれらの要求を冷たく拒否しています。

芝公園の 惣門・二天門の補修を

芝公園の国指定の重要文化財である惣門がかなり傷み、漆ぬりも無残にはがれ落ち、保存が心配されます。同じく国指定重要文化財の二天門も補修しないと保存が危ぶまれます。管理者の責任で、惣門と二天門の補修を早急に行う必要があります。

これに対し教育委員会は、所有者が補修を行う方向で検討されていると答えました。

二天門については日比谷通り側からは見ることができませんが、裏に回って見ることができません。公開していると言えない状況です。全体が見られるように質問しました。これに対して、土地の管理者である西武鉄道(株)に要望があったことを伝えると教育委員会は答えました。



固定資産税減額のため
現地を調査するくぼた光都議(左)
「会」安彦事務局長(右)

神明幼稚園をつぶすつもりか

区教委が「配置計画の見直し」で幼稚園つぶし狙う

区教育委員会は、これまでも区立幼稚園を関係者の意見も取り入れずに廃園をこり押ししてきました。この教育委員会の酷いやり方に対して、区立幼稚園の保護者や未修園児の保護者のみならず、区立幼稚園のしつかりした配置を議会へ請願していました。教育委員会はこれを無視して事実上の区立幼稚園つぶしと言え、「区立幼稚園の配置計画の見直しについて」を三月二十八日に決めてしまったのです。

この「見直し」は、①四歳児の一年目（今年十一月）の募集が十五人以下で二年目の募集が十五人以下のときは事実上廃園。

②ブロックに区分けした各園の応募が十五人以下の時は一〇人の応募があれば一園は残すが、翌年の募集で一〇人未満の時は事実上廃園。

③四・五歳児合わせて応募が一〇人未満の場合、四・五歳合同学級とし、翌年は廃園。

このやり方では、神明幼稚園は一・

JR・都営・営団の駅安全対策と

エスカレータの設置を求めよ

新大久保駅でホームに転落した人を救助しようと、二人の男性がホームに飛び降り、入ってきた電車に三名とも引かれ亡くなる事故が起きました。マスコミも、もしホームに駅員がいれば・・・、ホーム下に待避所があれば助かったのでは、と報道しました。

政府の調査でもこの二年半の間に、JRと私鉄合わせて全国のホーム転落事故は、一三二件起きています。また、障害を持った方、特に視覚障害者は九割前後の方がホームからの転落を経験しています（東視協調査）。

いのくま区議は、区内全駅の安全対策の詳細の調査を至急行い、その結果にもとづき、ホーム駅員のしつかりした配置や、待避所の拡大、ホーム柵の設置、等々を、JR、都営、営団に申し入れよと質問。これに対して区は、鉄道事業者に安全対策の資料が得られ

二年で廃園となってしまいます。教育委員会は、保護者・関係者の声を生かすことは一切考えない態度で、「一学級二〇人程度、複数学級が望ましい」という「基本方針」を押し通そうというものです。こうした教育委員会に幼児教育を安心してまかせすることはできません。神明幼稚園は、子どもたちが元氣いっぱい遊べる空間と環境が整えられている貴重な幼児教育の場です。

地域の中で多くの卒園生もいます。神明幼稚園が廃園になってしまえば、新橋・あたご地域には区立幼稚園がゼロになってしまいます。

教育委員会がやるべき事は、区の姿勢を、森ビルなどの巨大ビルばかりをつくるのではなく、子どもの声が聞こえる街づくりを区長部局に求めていくことではないでしょうか。党議員団は関係者のみなさんと力を合わせ、安心できる幼児教育、環境をつくるため教育委員会の態度を変えさせるため引き続き奮闘します。

さらに、いのくま区議は、バリアフリー法にもとづき、高齢者や障害をもった方が、移動の自由が確保できるように、芝公園駅や区役所利用、病院通いなどでお年寄りや障害者が利用する御成門駅の改善を鉄道事業者に要求すること。利用者が多い地下鉄新橋駅や大門駅もエスカレータの早期設置を求め質問しました。区は、エスカレータ未設置駅について営団、都営に要望していくと答えました。

西武の超高層ホテルから芝公園を守ろう

西武の芝公園内の百メートルの超高層ホテル計画について、西武から「建築計画の変更について」という文書が区に出されました。区民にはこのことが知られていません。

いのくま区議は「建築説明会ではなく、事前の説明会を求めよ」と質問。区側は事業者に対し事前説明会を開催するよう文書で申し入れると答えました。

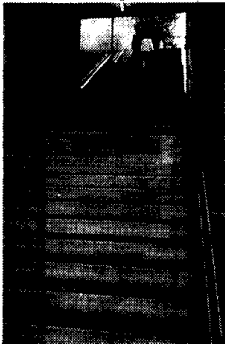
いのくま区議は、西武が区の要請を無視し続けるなら、東京都に対して、事業認可取り消しをするよう区の姿勢を正しました。この質問に対して、東京都に対し、区の意見が計画に反映されるよう、事業者への強力な指導を要望していくと答え、文書で要請することも確認しました。

都バス路線の復活へ

「全力で取り組む」区長答弁

昨年十二月十二日に都営地下鉄大江戸線などの全線開業に伴う都バス路線の廃止・縮小などに、復活を望む声が益々大きくなっています。区民からの怒りの声などがくぼた光事務所や党議員団にファックスや電話・手紙などで相次いでいます。党議員団はこの問題で機会あるごとにバス路線の復活を求め、三月議会でも質問しました。区長は「区民の声を踏まえ、議会とも連携して全力で取り組む」と答弁しました。また党議員は予算委員会でも、都は都バス利用の実態調査を行っている。それを入手するとともに、都との交渉は区の一部署でやるのではなく、全庁の英知をあつめて行い、べきと質問しました。区長は、都交通局の調査資料の入手に努力すること、庁内に調査チームを作り、区民の公共施設などへの交通手段など実態調査を行うこと、調査チームについては、庁内の英知をあつめることなどを答弁しました。

区民の外出の貴重な足バス路線を復活するため、引き続きがんばります。



エスカレータが無い御成門駅